

自動販売機設置場所の賃貸借に係る仕様書

1 販売商品の種類等

(1) 種類

販売する種類数のうち半数以上を飲料（アルコールは不可）とし、食品、その他設置施設において有用な物品等

※募集する自動販売機ごとに異なるため別添「募集物件一覧表」を参照

(2) 販売価格

市販価格（定価）より 10 円以上割引いた価格

2 賃貸借期間

令和 8 年 4 月 1 日から令和 11 年 3 月 31 日まで（自動更新なし）

3 費用負担

(1) 賃貸借料

設置事業者が提案する金額に消費税及び地方消費税相当額を加算した金額（1 円未満切捨て）

(2) 管理費（電気使用料相当額を含む）

1 台あたり年額 60,000 円に消費税及び地方消費税相当額を加算した金額

(3) 設置費用等

自動販売機の設置、撤去、原状回復等運用に係るすべての費用

4 自動販売機の規格及び条件

(1) 規格

別添「募集物件一覧表」の設置場所面積以内（固定器具を含む）

(2) 環境対策

消費電力量の低減に資する省エネルギー技術を有し、ノンフロン冷媒を採用した機種とする。ただし、カップ式自動販売機、紙パック自動販売機については、いわゆる「代替フロン（地球温暖化対策の推進に関する法律による）」を認める。

(3) その他

物件 17 について、賃貸借期間中に 6 か月程度の閉館を伴う大規模改修工事の予定あり。改修後の当該物件への設置機器は、市と協議の上で施設外観と調和する色彩とすること。

5 遵守事項

(1) 安全対策

ア．転倒防止

「自動販売機の据付基準」(JIS 規格) 及び「自動販売機据付基準マニュアル」(日本自動販売機工業会作成) を遵守した措置を講ずるものとする。

イ．食品衛生

「食品、添加物等の規格基準」(食品衛生法) 及び「自動販売機の食品衛生に関する自主的取扱要領」(業界自主基準) 等を遵守し、販売商品の衛生管理に万全を尽くすものとする。また、商品販売に必要な営業許可を受けなければならない。

ウ．防犯

偽造通貨又は偽造紙幣の使用による犯罪の防止に万全を尽くすものとし、屋内設置であっても「自販機堅牢化基準」(日本自動販売機工業会作成) を遵守し、犯罪防止に努めるものとする。

(2) 使用済み容器の回収

ア．飲料用回収ボックスの設置

原則として自動販売機 1 台につき 1 つ、プラスチック製又は金属製の飲料用回収ボックスを設置する。

イ．使用済み容器回収場所の衛生管理

回収容量や頻度、対象物の表示方法、一般ごみ混入防止の形状等により回収ボックスから使用済み容器が溢れたり、周囲に散乱したりしないよう対策を講じる。

ウ．使用済み容器の処理

廃棄物処理法、容器包装リサイクル法等関係法令に基づいて適切に処理する。

(3) 自動販売機の設置及び管理運営

ア．設置事業者において、自動販売機の設置前に設置場所の確認を行う。

イ．設置事業者において、商品の補充及び変更、売上金の回収及び釣り銭の補充並びに自動販売機内部・外部及び設置場所周辺の清掃などを行う。

ウ．設置事業者において、消費期限の確認など、安定した高品質の商品を提供するための品質保証活動を行う。また、極端に賞味期限が近いものは販売しない。

エ．設置事業者において、専門技術サービス員による保守業務を随時行って維持に努めるほか、故障時には即時対応する。なお、機器には故障時等のサポート連絡先を明記すること。